



簡易GPSゾンデ受信システムでの観測

## 山口大学農学部様 簡易GPSゾンデ受信システムをご採用！

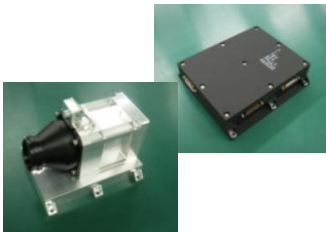
山口大学農学部の大気環境学研究室様では、豪雨豪雪メカニズム解明のための雲内の降水粒子の直接観測研究と、局地的な気象環境評価研究の2つのテーマに取り組まれております。

今回、局地的な気象環境評価研究用として、明星電気の「RD-08A簡易GPSゾンデ受信システム」をご採用頂きました。

使用する「RS-06G型ラジオゾンデ」は、温度・湿度センサの他にGPS受信機も搭載しており、温度・湿度データ及びGPSによる3次元位置情報データを地上に伝送することができます。

この伝送信号は、地上の受信システムで受信復調及びデータ処理を行うことで、高度30Km程度までの温度・湿度・風向・風速の鉛直分布を高精度に観測することができます。明星電気の技術が、環境評価研究にも役に立っています。

(当社営業担当: 中国支店 権藤 直樹)



「あかつき」に搭載された雷・大気光カメラ (LAC)のセンサー部とエレキ部

## 金星探査機「あかつき」に 明星電気の雷・大気光カメラ搭載！

5月21日6時58分、金星探査機「あかつき」を搭載した、H2Aロケット17号機が種子島宇宙センターから打上げられました。

H2Aロケットは正常に飛行し、打上げ後約27分に無事「あかつき」を分離しました。

「あかつき」は主に、金星の大気の流れのメカニズムを解明することを目的とした世界初の惑星気象衛星です。

当社は、搭載された6種類の観測機器のうち、雷・大気光カメラ(LAC)を開発しています。これは金星の雷の放電状況と、超高層大気の発光現象である大気光の観測用として開発されたものです。

太陽系のはるかかなた、地球の双子星といわれる惑星の探査に、明星電気の技術が生かされています。

(当社営業担当: 第一営業部 小林 忍)



出展技術発表会と展示ブース

## JL表示処理装置とQCAST®シリーズを 防災技術として発表！

5月26・27の両日、国土交通省関東技術事務所内の建設技術展示館で、出展及び技術発表会が開催されました。

当社は2009年11月から、同館にてJL表示処理装置S713-FC1とQCAST®受信装置S704-FC2、及び受信ユニットS740を出展しています。

今回の出展及び技術発表会は、建設技術者や自治体関係者などを対象として開催されており、当社はこれらの製品をIT及び防災分野の技術として展示すると同時に、システムの概要や活用事例を説明しました。

明星電気では、こうした防災技術の活用方法を、社会インフラ構築や計画に役立てていただけるよう、今後も積極的に情報提供を行ってまいります。

建設技術展示館HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kangi/kengaku/techno-kan/index.htm>

(担当: 営業支援グループ)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。